

主体的に学習に取り組む児童の育成 ～ICT機器を活用した授業づくりを通して～

第3回研究全体会（第二回研究授業）

単元名「流れる水のはたらきと土地の変化」

日時 令和3年9月22日（水）

研究授業 （5-3）理科

指導者 小野かおり主任教諭

主体的に学習に取り組む姿（高学年分科会）

課題に向き合って学習し、次の学びにつなげようとする児童

5年生は、「流れる水の量と土地の様子の変化との関係を調べる実験を通して、自分の予想や仮設をもとに、解決の方法を考え、表現する」という学習をしました。授業支援クラウド「ロイロノート」を使用し、お互いの考えを共有したり、実験を記録したりすることで、「主体的に学習に取り組む姿」へつなげることをねらいとしました。

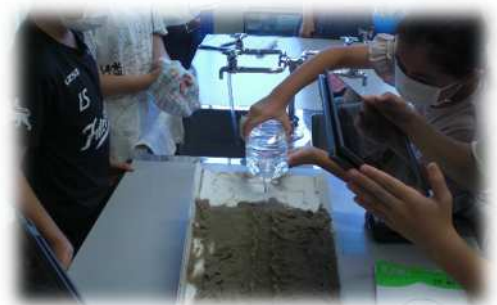


「流れる水のはたらきは、どうなるかと強くなるだろうか」という問題に対して、一人一人が予想し、ロイロノートで予想を共有します。



「水の量が増えると流れる水の働きは強くなる」という予想解決の実験方法を考え、班で話し合います。今回は思考ツール「クラゲチャート」使って、班の考えをまとめました。

いよいよ実験です。「水を流す前」「流しているとき」「流し終わったとき」の動画を撮影し、何度も繰り返し見ながら、考察を考えました。



ICT機器を活用し、進んで考えを共有したり、繰り返し実験の動画を見たりして、主体的に自分の考えを深めている姿が見られました。クロームブックを文房具の一つとして使いこなしている5年生の姿も印象的でした。